

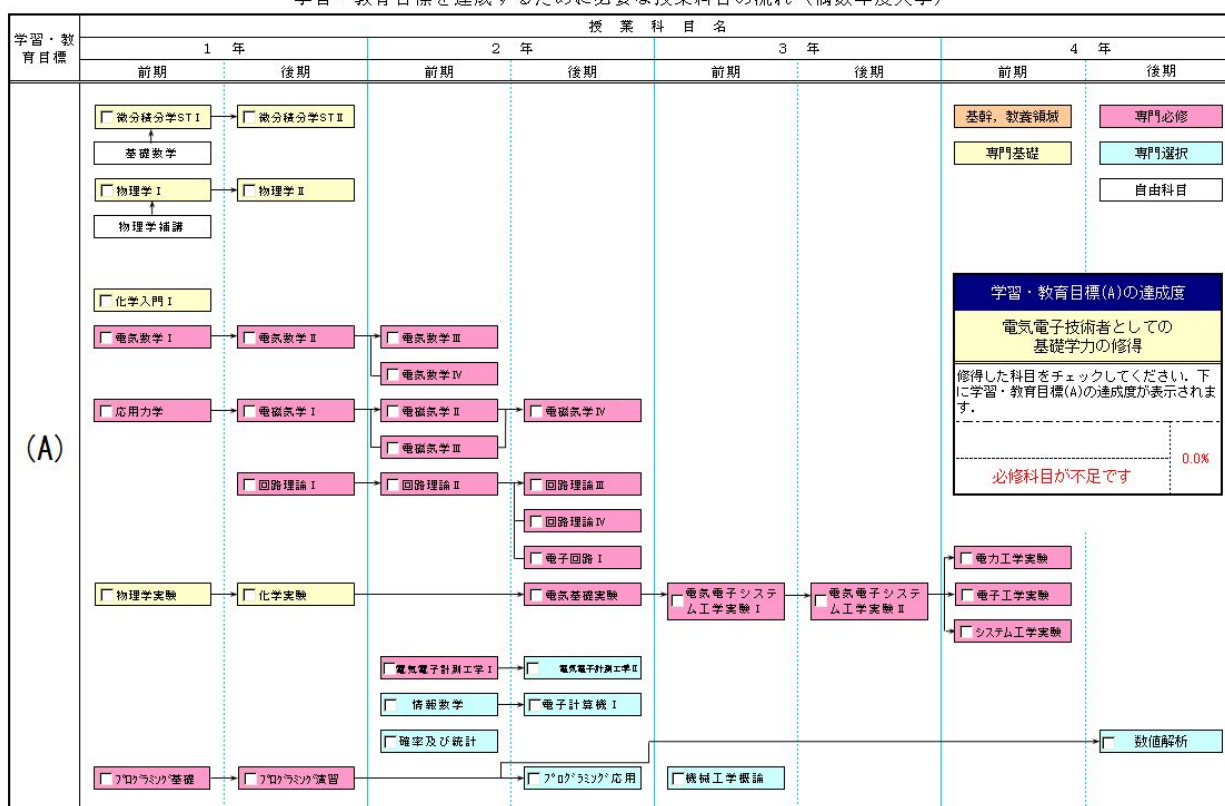
学習・教育目標の達成度評価について

電気電子工学科では、学生自身が、学習・教育目標に対する自分自身の達成度を各学期毎に確認し、その学習に反映させることを求めています。そのために、各学期毎に成績表を受け取った後、自分自身が学習・教育目標をどの程度達成したかを確認し、各指導教員に達成度評価ファイルを提出してもらいます。

以下に、達成度評価ファイル作成法について説明します。

1. 学期始めに成績表を受け取ります。
2. 学習・教育目標の対応する年次の達成度評価ファイルを学科ホームページよりダウンロードし、適当なフォルダに保存します。ファイルは Excel 形式です。
3. 保存したファイルを Excel で開きます。その際、警告が出ることがありますが、「マクロを無効にする」をクリックするか、「OK」ボタンをクリックして下さい（マクロは無効でも動作に影響ありません）。
4. ファイルを開くと、次のような画面になり、このファイルが「学習・教育目標(A)」、「学習・教育目標(B)」、「学習・教育目標(C)」、「学習・教育目標(D・E)」、「学習・教育目標(F・G)」、「達成度評価表」の6つのシートから構成されていることがわかります。

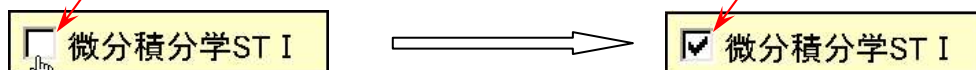
学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ（偶数年度入学）



このファイルは6つのシートからなる。

5. 最初に「学習・教育目標(A)」のシートから作成していきます。例えば、1年次前学期が終わり、後学期始めに成績表をもらい、学習・教育目標(A)に記載されている1年前期全ての科目が修得できたとします。その場合、各科目名の頭にある□をクリックして、次の様にチェックマークを入れて下さい。

ココをクリックする。 クリックすると・・・ チェックマークが入る。



上の様にして、修得した科目全てにチェックをいれる。

学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ（偶数年度入学）

学習・教育目標	授業科目名									
	1年		2年		3年		4年			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
(A)	<input checked="" type="checkbox"/> 微分積分学ST I	<input checked="" type="checkbox"/> 微分積分学ST II							<input type="checkbox"/> 基礎, 教養領域	<input type="checkbox"/> 専門必修
	<input type="checkbox"/> 基礎数学								<input type="checkbox"/> 専門基礎	<input type="checkbox"/> 専門選択
	<input checked="" type="checkbox"/> 物理学 I	<input checked="" type="checkbox"/> 物理学 II								<input type="checkbox"/> 自由科目
	<input type="checkbox"/> 物理学補講									
	<input checked="" type="checkbox"/> 化学入門 I									
	<input checked="" type="checkbox"/> 電気数学 I	<input checked="" type="checkbox"/> 電気数学 II	<input type="checkbox"/> 電気数学 III	<input type="checkbox"/> 電気数学 IV						
	<input checked="" type="checkbox"/> 応用力学	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁気学 I	<input type="checkbox"/> 電磁気学 II	<input type="checkbox"/> 電磁気学 III	<input type="checkbox"/> 電磁気学 IV					
		<input checked="" type="checkbox"/> 回路理論 I	<input type="checkbox"/> 回路理論 II	<input type="checkbox"/> 回路理論 III	<input type="checkbox"/> 回路理論 IV	<input type="checkbox"/> 電子回路 I				
	<input checked="" type="checkbox"/> 物理学実験	<input checked="" type="checkbox"/> 化学実験	<input type="checkbox"/> 電気基礎実験	<input type="checkbox"/> 電気電子システム工学実験 I	<input type="checkbox"/> 電気電子システム工学実験 II			<input type="checkbox"/> 電力工学実験	<input type="checkbox"/> 電子工学実験	<input type="checkbox"/> システム工学実験
			<input type="checkbox"/> 電気電子計測工学 I	<input type="checkbox"/> 電気電子計測工学 II						
			<input type="checkbox"/> 情報数学	<input type="checkbox"/> 電子計算機 I						
			<input type="checkbox"/> 確率及び統計							
	<input checked="" type="checkbox"/> プログラミング基礎	<input checked="" type="checkbox"/> プログラミング演習	<input type="checkbox"/> プログラミング応用	<input type="checkbox"/> 機械工学概論						<input type="checkbox"/> 数値解析

学習・教育目標(A)の達成度

電気電子技術者としての基礎学力の修得

修得した科目をチェックしてください。下に学習・教育目標(A)の達成度が表示されます。

50.0%

必修科目が不足です

6. ここで、表の右側にある「学習・教育目標の達成度」の欄を説明します。この欄は、学習・教育目標(A)に対する達成度を評価しています。上記例の様に、1年前期に開講される専門基礎及び専門必修科目を全て修得した場合、達成度は22.4%となります。これは、学習・教育目標(A)で修得すべき全単位数に対する修得済単位数の割合を示しています。また現時点で、「必修科目が不足です」、「選択科目が不足しています」と表示されていますが、4年までに修得すべき必修科目及び選択科目数を満たし各科目にチェックを入れると、この表示が消えて、「目標を達成しています」と表示され、達成度は100%になります。

修得すべき単位を満たすと、この表示が消え、上欄に「目標を達成しています」と表示されます。

学習・教育目標(A)の達成度

電気電子技術者としての基礎学力の修得

修得した科目をチェックしてください。下に学習・教育目標(A)の達成度が表示されます。

50.0%

必修科目が不足です

達成度：
 $\frac{\text{修得済単位数}}{\text{(A)で修得すべき全単位数}}$

- 「学習・教育目標(B)」のシートを選択し、(A)と全く同様に作成します。
- 「学習・教育目標(C)」のシートを選択します。(C)は下記のようになっています。

表 6 学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

学習・教育目標	授 業 科 目 名								
	1 年		2 年		3 年		4 年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(C)	基幹，教養領域								
	健康運動系科目				右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:				0
	人文系科目				右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:				0
	社会系科目				右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:				0
	総合・琉大特色科目				右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:				0

学習・教育目標 (C)	
幅広い教養と豊かな知性及び柔軟な思考力の修得	
各系の修得単位数を選択してください。下に学習・教育目標(C)の達成度が表示されます。	
総単位数が不足しています	0.0%
健康運動系科目が不足しています	
人文系科目が不足しています	
社会系科目が不足しています	
総合・琉大特色科目が不足しています	

このシートは先ほどまでとは異なり、具体的な科目名については記していません。表示に従って、各科目群の右欄をクリックして、修得した単位数を選択します。ここでは、「健康運動系科目」群から、1単位修得した場合について例を示します。

ココをクリックすると、この様に単位数を選択するリストボックスが表示されるので、そこで修得した単位数を選択します。

健康運動系科目	右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:	0
人文系科目	右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:	2 2単位以上
社会系科目	右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:	0
総合・琉大特色科目	右欄をクリックして修得した単位数を選択して下さい:	0

この様にして、「人文系科目」、「社会系科目」、「総合・琉大特色科目」に関しても同様に修得した単位数を入力します。

9. 「学習・教育目標(D・E)」及び「学習・教育目標(F・G)」のシートは、「学習・教育目標(A)」と同様に作成して下さい。

10. 学習・教育目標(A)から(G)まで作成したら、最後に「達成度評価表」のシートを選択します。最初に、シートの右上部にある欄に、年次、学籍番号、氏名を記入して下さい。

学年，学籍番号，氏名を記入。

学習・教育目標の達成度評価シート 1 学年 学籍番号 085500A 氏名 電電太郎

(学期始めに成績表を受け取った後、このファイルを、メールに添付するか電子媒体(CD-R等)で指導教員に提出して下さい。)

該当する年次・学期にチェック <input type="checkbox"/> を入れて下さい。 (※欄上段の数字は、それぞれの学期における標準的な達成度を意味する。)

11. 該当する年次・学期にチェックを入れて下さい。例えば、1年次後学期に、前学期の成績表を受け取ったら、1年前期にチェックを入れます。すると、下図の様に、先ほど作成した学習・教育目標(A)～(G)の達成度が、各欄に表示されます。なお、各欄上段の薄い数字は、それぞれの学期において、標準的な達成度を意味しています。その数字と比べて、自分の達成度を確認して、今後の学習に生かして下さい。なお、この表では3年次前期の欄にチェックを入れると、卒業研究仮配属に必要な科目が履修済かどうかの確認ができます。引き続き、前学期を振り返っての自己評価を記入します。

該当する学年, 学期にチェックを入れる.

学習・教育目標の達成度評価シート		1年次		学籍番号 095500A		名前 電電太郎		
(学期始めに成績表を受け取った後、このファイルを、メールに添付するか電子媒体(CD-R等)で指導教員に提出して下さい。)								
学習・教育目標	該当する年次・学期にチェック☑を入れて下さい。 (※欄上段の数字は、それぞれの学期における標準的な達成度を意味する。)							
	1年		2年		3年		4年	
	☑ 前期	☐ 後期	☐ 前期	☐ 後期	☐ 前期	☐ 後期	☐ 前期	☐ 後期
(A) 電気電子技術者としての基礎学力の修得	25.0%	50.0%	73.1%	91.3%	94.2%	97.1%	100.0%	100.0%
(B) 電気電子分野の広がりへの理解と専門的な課題に取り組む素地の育成	0.0%	0.0%	50.0%	66.7%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%
(C) 幅広い教養と豊かな知性及び柔軟な思考力の修得	6.3%	25.0%	50.0%	75.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%
(D) 技術者としてのコミュニケーション能力の向上	25.0%	42.9%					71.4%	100.0%
(E) 技術と社会との接点および技術者の倫理観および責任の理解	0.0%	0.0%					90.0%	100.0%
(F) 問題理解、課題解決能力の向上	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	21.4%	32.1%	42.9%	100.0%
(G) 自主学習能力の向上	5.9%	23.5%	41.2%	63.2%	67.6%	72.1%	76.5%	100.0%
自己評価	この欄に前学期の自己評価を記入する。							
指導教員コメント								印

この欄の数字が各学習教育目標に対する達成度になります。上段の薄い数字がその学期における標準的な達成度です。

12. 作成したファイルを保存します。ファイル名は 学籍番号.xls として下さい。ファイル形式は、必ず「EXCEL97-2003ブック」形式で保存して下さい。この例では、

095500A.xls

となります。保存したファイルは、各指導教員にメールに添付して送るか、CD-RやUSBメモリ等の電子媒体に記録して必ず提出して下さい。

13. 指導教員よりのコメントが記入された達成度評価表シートの印刷版をもらいます。その後、達成度評価表シートと成績表を指定のバインダーにとじ、保管して下さい。指導教員から履修登録確認表に印鑑をもらう際には、バインダーを提示して下さい。電子ファイルの提出、成績表並びに達成度評価表シートが閉じられたバインダーの提示が無い場合、履修登録確認表に指導教員は押印できません。

14. このバインダーは卒業まで各自保管し、学期毎に達成度評価表シートと成績表をとじるようにします。そして、卒業時にバインダーを指導教員に提出して下さい。